



GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

vol. **1**

2011年7月号

こころの中を見つめよう
博愛を広げるために



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

月信に掲載しなかった補足情報をホームページに掲載しております。http://ri2710.com/ をご覧下さい。

ガバナーメッセージ GOVERNOR'S MESSAGE

ロータリーで楽しむところを学ぶ



国際ロータリー第2710地区
2011～2012年度ガバナー

田村 泰三

新しい年度のスタートに当たって、ロータリー活動に意欲をみなぎらせておられることと思います。クラブの会員の皆さんとともに、ロータリーは楽しいもの、意義あるものと思えるような年度を作ってほしいと思っています。

年度開始直前に発生した東日本の大地震により、日本は歴史上経験をしたことがないような自然災害を受けました。今年度のロータリー活動に大きな影響をおよぼしています。しかも復興には5年から10年はかかると思われる大きなダメージです。

ロータリー活動は、この様な災害からの復興支援も大きな仕事であると言っても良いでしょう。このような時期に会長・幹事として働くことは絶好のめぐりあわせです。このような中であっても、消滅するクラブを一つも出さないようにするにはどのようにすればよいかを、被災地の皆さんと共に考えていきたいと思っています。

人類は太古の昔から自然の大きな災害を経験す

るたびに新しい知恵を学んできました。この度の災害にも、前田ガバナー年度に多額の義援金を全クラブから出していただきました。今年度も1人1万円程度の義援金をお願いしたいと思っています。ロータリー財団は「ロータリー日本・太平洋諸島地震災害復興基金」を立ち上げました。被災地域の人的支援と災害復興のプロジェクトのためのマッチング・グラントとグローバル補助金を通じて管理支給されます。復興支援は義援金だけではなく、私たちのロータリー活動全般にわたります。そして、何より重要なことはこの災害からできるだけ多くのことを学ぶことだと思っています。

会長・幹事さんは強力なリーダーシップを発揮してください。ピチャイ・ラタクル元RI会長は「リーダーシップとは、リソース、エネルギー、人々の意欲を結集して、仕事を成し遂げることです。」と解説しています。リソースとは資源であり、情報、人材などに加えて、調査したニーズなどもこれに当たるとしています。クラブの皆さんにロータリー活動の真髄を経験していただけるように心がけてください。

ガバナー信条は「ロータリーで楽しむところを学ぶ」としました。クラブ会員の一人一人がロータリー活動を楽しむためにはどのようにすればよいかを考えたいと思います。

悔いのないロータリー年度になりますことを願って、皆さまとともに新しい年度の門出を祝福したいと思います。



RI第2710地区2011-12年度
ガバナー略歴

田村 泰三 (たむらたいそう)



所属クラブ／柳井ロータリークラブ
 生年月日／1940年12月1日
 職業分類／独立行政法人
 現住所／〒742-1352 柳井市伊保庄95
 学歴／広島大学医学部卒業
 職歴／独立行政法人国立病院機構柳井病院 院長(1986～2006年)
 主公歴／独立行政法人国立病院機構柳井病院 名誉院長(2006年～)
 ロータリー歴／1986年7月1日 柳井ロータリークラブ入会
 1991～1992年度 柳井ロータリークラブ幹事
 2001～2002年度 柳井ロータリークラブ会長
 2008～2009年度 グループ5 ガバナー補佐
 マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
 米山功労者3回、ベネファクター

2011-12年度 RIテーマと地区運営方針

ガバナー **田村 泰三**

■2011-12年度 RIテーマ

「こころの中を見つめよう 博愛を広げるために
 / Reach Within to Embrace Humanity」

■RI会長強調事項

最優先項目:ポリオ撲滅 青少年にかかわる活動
 未来の夢計画の6つの重点分野

■地区ガバナー信条

信条:「ロータリーで楽しむところを学ぶ」
 ◇サブ・テーマ
 「日本復活に向けて、私達に何が出来るか？」

■地区運営方針

- ◇社会奉仕を重点とし奉仕全般を実施
- ◇ロータリーの理解を深めるため、情報の整理、研修の推進
- ◇各クラブは活性化に向けガバナー補佐を中心に目標を明確にし、長期計画を策定する。
- ◇RI人頭分担金 51ドル/人
- ◇地区関係負担金 24,500円/人

■地区目標

- ◇RI会長賞およびその他のRI各賞へのチャレンジ。
- ◇会員増強・維持
 - ・3年計画として継続的に実行し、純増3%を目標とする。

- ・各クラブ1名以上の純増を目標にかかげる。
- ・女性会員,45歳以下の会員増強。

- ◇ロータリー財団目標
 - ・年次寄付・・・120ドル/人以上
 - ・恒久基金・・・各クラブ ベネファクター1人以上増
 - ・使途指定寄付・・・ポリオプラスなどへの協力
- ◇米山記念奨学金
 - ・15,000円/人以上の達成

■地区内主要行事

- ◇地区指導者育成セミナー
 2011年8月27日(土) ホテルグランヴィア広島
- ◇地区大会
 2011年10月14日(金)～16日(日)
 - 10月14日(金) 記念ゴルフ大会
 柳井カントリー倶楽部
 - 10月15日(土) 第1日 会長・幹事会議
 柳井クルーズホテル
 - 10月16日(日) 第2日 本会議
 サンビームやない

■RI第3690地区大会(姉妹地区)

2012年4月又は5月(韓国)

■国際大会 RI第103回年次大会

(地区のブース“広島から平和を発信”を開設)
 2012年5月6日～9日 於:タイ バンコク



RI会長メッセージ

Reach Within to Embrace Humanity

こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

2011-12年度国際ロータリー会長
カルヤン・バネルジー

2011-12年度には、まず自分自身を見つめなおすこと、すなわち「こころの中を見つめよう、博愛を広げるために」のテーマを実践していただきたいというのが、ロータリアンの皆さまへの私からのお願いです。深く自己を省みることによって、人類が皆、同じ夢、同じ希望、同じ願望、同じ問題を分かち合っていることを、理解していただきたいのです。誰であろうと、どこに住んでいようと、私たちはそれぞれ、同じように平和と充足を願い、充実した毎を送りたいと望んでいます。人に何かを与えようとするなら、まず自分自身にそれを与えることです。なぜなら、自らが抱く望みを理解せずして人々の望みを理解することはできないからです。

全世界で平和について語る前に、まずは自分から始め、その後で外に目を向ける必要があります。心に平和を見出してこそ、家の中に平和をもたらし、家族に平和をもたらし、そして地域社会に平和をもたらすことができるのです。同様に、全世界で平和を築こうとする前に、まず自分の家庭で平和を築き、全世界で友情と寛容の心を育もうとする前に、まず自分の周りの人々に対してそれを実践しなければなりません。言い換えれば、心が平和であれば、家庭が平和になり、この平和をほかの人々と分かち合うことができるということです。愛する人、大切な人と一緒にいることに喜びと満足を感じるように、私たちは、他者を大切にすることができるのです。

自分が強くなれば、共に生きる人々や家族も強く

なります。そして、強い家族を土台として、前進していくことができるのです。うちに強さを秘めた人々が協力すれば、人類にもより良く奉仕することができます。これこそ、私たちがロータリーで行っていることです。

次年度には、ロータリーの奉仕において3つの強調事項に力を注いでいきたいと思えます。第一に、強い家族を築くこと、第二に、私たちが一番得意とすることを継続していくこと、最後に、変える必要があることは変えるということです。

年度の第一の強調事項は、「家族」です。万事は家族から始まります。私たちが行う奉仕すべて、また世界で成し遂げたいと望むことすべての出発点は、家族にあります。そして、あらゆる家族の中心を成しているのが、母と子です。ここから始めてこそ、人々の生活や地域社会全体を通じて、世界をより良くしていくことができるのです。

第二の強調事項は、「継続」です。私たちが得意とすることは何かを知り、それを継続しながら次のレベルへと高めていくことです。私たちは皆、ロータリーの奉仕で成功を収めてきました。

これらの成功を土台に、今後もさらに多くの人々に手を差し伸べていくことができるでしょう。ですから、きれいで安全な水の提供、疾病の予防、識字力の普及、新世代のための活動や新世代との協力、平和への努力といった活動を、これからも続けていかなければなりません。

同時に、改善できること、変えるべきことがある



ことを、私たちは知っています。こうした事実を勇気をもって見据え、変えるべきことは何かを見定め、必要な変化をもたらしていくために行動していかなければなりません。

マハトマ・ガンジーはかつて次のように述べました。「世界の変化を望むなら、あなた自身がその変化にならなければならない」。ロータリーにおいては、私たちは、友情と親善を分かち合い、あらゆる人々の真の価値を見極めるために、倫理的に、誠実に生きようと努力しています。ロータリアンは並のことには満足しません。なぜならロータリーは非凡な組織であり、ロータリアンは類いまれな人々だからです。私たちが自分自身を高めることによって、世界を高めようと取り組むのは、このためなのです。

私たちは皆、ロータリーを通じて世界を変えたいと望んでいます。ロータリアンとなる理由は、まさにこれに尽きるのではないのでしょうか。幸せと健康と平和にあふれた世界をつくることができる、過去よりも明るい未来を築くことができると、私たちは信じています。理想主義者である私たちは、ロータリーの奉仕を通じてこの理想を実現しているのです。

2011-12年度の第三の強調事項を「変化」としたのは、このためです。世界に望んでいる変化に、まず私たち自身になることです。平和を望むなら、家庭に、地域社会に、自分自身の生活に平和をも

たらすことから始めるのです。ポリオやほかの病気を世界からなくし、環境破壊に歯止めをかけ、子どもの死亡率を減らし、識字率を高め、飢えを減らしたいと望むなら、自分自身がこの変化の担い手とならなければなりません。それには、まず自分の中にこそ変化を起こすことの必要性を認識しなければなりません。

「こころの中を見つめよう、博愛を広げるために」。平和、調和、そして友情の精神の中で変化をもたらし、すべての人々のために、さらに喜びある世界を築いていこうではありませんか。

Kalyan Banerjee

2011-12年度国際ロータリー会長
カルヤン・バネルジー



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

カルヤン・バネルジー 氏 略歴 (インド、バピRC)

- 2011-12年度 国際ロータリー会長
- 2008-09年度 ロータリアン行動グループ委員会委員長
- 2001-05年度 ロータリー財団管理委員
- 1995-97年度 国際ロータリー理事
- 1980-81年度 地区ガバナー



本年度地区研修リーダーとして

研修リーダー
(07～08パストガバナー)

金子 信

田村泰三ガバナーにおかれましては、去る1月にサンディエゴで開催された国際協議会で、ガバナーとしての最終研修を受けられ、次年度に向かって積極的な運営をしかも着実に準備されました。私はそのもとで本年度研修リーダーを務めます。そこで、昨年度より新しい形の地区研修委員会を立ち上げ、委員の皆様と協議の末、PETS及び地区チーム研修セミナー、更には地区協議会等、参加者があまり負担にならない程度の改革を致しました。

かねてより私は、ロータリー活動は「不連続の連続」だと思っております。それは、いうまでもなく、我々が矜持するロータリー精神は連続するも、毎年新しいリーダーが、同じ機会は二度とないという気概で臨んで、自分の役職、任務に新しい風(不連続)を送り続けているからです。

最近おもしろい文章が目にとまりました。それは、“何かをやり遂げる人は、やるべき時は本気でめり込む。一般にいう一生懸命は嫌々ながらもできるが、本気は違う。強い意志がないと本気に

はなれない。一生懸命が「消極的な自己犠牲」であるのに対し、本気は「積極的な自己犠牲」であるため、端から見たら大変なことでも辛さを感じずに努力し続けられる、なぜなら、自分の意志が発点だからだ。”というものです。各クラブは自立性と独自性(個性)を持つことが求められています。

「汝の足元を深く掘れ、そこに泉あり。」各クラブ及びロータリアンはこうした心情で自分たちの住む地域を憂い考えながら、またある時は、その延長線で世界に目をむける、つまり今日の国際奉仕とはいかにあるべきかと田村泰三ガバナーは問題提起されています。

107年目を迎えるロータリーが、今日まで継続して発展しているのは、有能なリーダー自身が限られた1年を、昨今RI推奨のRLIの目的である「ロータリアンのモチベーション」つまり「本気」で臨んでいるからだとは私は信じております。どうか各クラブにおかれましては、より活性化され有意義な来たる1年を過ごされますよう心より祈念してやみません。

2011-12年度 今後の研修予定

- ・8月27日(土) 地区指導者育成セミナー並びに
地区会員増強セミナー／地区ロータリー財団セミナー
- ・9月11日(日) 第3期RLI-2710 パートⅢ卒業プログラム



RI 第 2710 地区
パストガバナー

前田 茂

「新しい年度にあたり」

新年度、田村泰三ガバナーとして順風満帆スタートにつかれました。こうした新しい門出というこの事は、前後のバランス感覚を捉え将来の方向性を見る上で大変有意義であると思います。

私が担当した年度は、エレクト年度より様々な予期しない事象が世界的に数々発生した感を持ちました。ガバナーという立場であったからこそそう感じたのかもしれませんが。まず自然災害が甚大で世界各地で発生をみました。特に東日本関東大震災は日本歴史上希有なできごとでありましたし、これに加えて人災ともいえる福島原発の水素爆発が被害を大きくして助長していったことであります。加えて震災前の日本は色々と課題をかかえて

おり、経済の停滞、巨額の累積赤字、人口減少、安全保障関係の劣化等深刻なものばかりでありました。日本の復興にむけ一致団結が今こそ必要だと思います。それは私心を捨てて大道につくということではないでしょうか？過去の歴史を検証して新しい日本の出発点として再生してゆかねばなりません。この鍵は人づくりであります。戦後教育で特に欠けていた公共精神の涵養であり、社会に奉仕する心の教育が必要であります。今回の大震災は若い人達の内向き思考を克服して、グローバル競争に打ち勝つ人材として変化してほしいと念願します。世界の日本を視る目はこの期の復興にむけた行動を注視しています。ここで我々ロータリアンは「奉仕の理想」をめざし「長期的視野」で「あらゆる角度から」存在感を示す必要を強く思うわけであります。

田村泰三ガバナーに思いを託し激励の言葉とします。



ガバナー

田村 泰三

「前田 茂直前ガバナー及び
関係役員の方々への謝辞」

グループ12から初めてのガバナーとして、周到的な準備を整えられて出発されました前田 茂ガバナーおよび地区の役員、委員会の皆さん、本当にご苦勞様でした。後に続く私たちにも誠心誠意ご指導くださり、心から感謝しております。

前田ガバナーは青少年奉仕に重点とした奉仕活動全般を計画されました。国際ロータリーの会長、レイ・クリンギンスミスさんは自分自身がロータリーの青少年交換学生としてアフリカに学んだ経験を持っておられましたので、新世代奉仕にも力を入れられました。さらに、2010年の規定審議会において、新世代奉仕は5大奉仕に格上げされました。ガバナーとして、時代の変化に即応して見事なリーダーシップを発揮されました。

恵まれた環境のもとで開催されました地区大会は、天候のことで間際まで心配されましたが、人事を尽くして天命を待つという心境に天は微笑みました。

年度終了間際に発生した東日本の大地震、津波、原子力発電所の事故を合わせた大災害に対しても、いち早く支援を呼び掛けられ、地区として多額の義援金を届けられました。青少年交換においてはRIの事務総長から引き上げるよう勧告が出ましたが、ガバナーをはじめ担当の方々の毅然とした決断に3名の高校生は最後まで滞在することになりました。

前田ガバナーの任期中に三次ロータリー・クラブは創立50年を迎えられました。また、ニューオーリンズの国際大会で友愛の広場に地区として初めてブースを出すことを許可してくださいました。意義深い一年を卓越した英断で築かれたことに敬意を表し、数々の教訓をいただきましたことに感謝申し上げます。

国際ロータリー第2710地区 2013-14年度 ガバナーノミニー決定宣言 ガバナー 田村 泰三

2011年5月16日、本地区ガバナー指名委員会は、国際ロータリー細則第13条13.020.により2013-14年度ガバナーノミニー候補者として沖田 哲義氏(下関RC)を推薦し、その旨細則第13条13.020.6.により地区内会員に公表致しました。

その後、2週間の期限までに対抗候補者の推薦がございませんでしたので、細則第13条13.020.10.により沖田 哲義氏を国際ロータリー第2710地区2013-14年度ガバナーノミニーとして決定致しましたことをご通知申し上げます。



2013-14年度 地区ガバナーノミニー略歴

沖田 哲義 (おきたてつよし)

所属クラブ/下関ロータリークラブ
生年月日/1948年12月5日

職業分類/弁護士

学歴/早稲田大学 第一法学部 卒業

職歴/弁護士沖田哲義法律事務所 所長
弁護士・海事補佐人

主 公 職/(元)社団法人下関青年会議所理事長
(元)下関21世紀協会(現財団法人)理事長

主 公 職/(現)学校法人河野学園理事

(現)学校法人下関学園理事

(現)財団法人中部財団理事

(現)社会福祉法人中部少年学院理事

ロータリー歴/1989年3月6日 下関ロータリークラブ入会

2000-01年度 幹事

2004-05年度 会長

ポール・ハリス・フェロー



2011-12 年度代表幹事

田村 邦夫

「地区代表幹事
就任にあたって」

歴史を物語るスコットランドの都エジンバラから、新緑豊かな湖水地方を南下して、英国第2の都市バーミンガムの国際大会に臨んだのは一昨年の6月でした。

大阪から出発した一行の中には、各地のガバナー、パストガバナーもご一緒に、その道すがらロータリーについて多くを学ばせていただきました。ロータリーの理念を通して各地区の活動や組織は、ロータリーの多様性そのものであり、夫々の地区の特徴を表わしているようです。田村泰三ガバナーノミニー決定から間もなく、地区内パストガバナー表敬訪問に同行させていただき、その際、ロータリー精神の源にもふれさせていただき、地区運営についても懇切にご教示いただきましたこと

は、今後のロータリー人生にとって大きな糧となり、ただ感謝の一念です。

2011-12年度は、柳井2クラブを中心に、グループ5の岩国3クラブの協力を得て地区組織を編成しており、少人数のクラブからのガバナー輩出、その地区運営も従来とは多少変化しております。ロータリーミレニアム、変貌する世界情勢、さらに国内では3月に発生した東日本大震災、福島原発大惨事などに対してロータリーに課せられたテーマは大きなものがあります。人類として私達がなすべきことを各々が胸に秘めて、「超我の奉仕」「奉仕の理想」を目指し、今私たちは変わらなければならない時です。「Mankind is our business」「Reach Within to Embrace Humanity」(私の尊敬するRIテーマの2題です)

地区内ロータリアンの皆様と一緒に、変化し、進化するために、私は黒衣としてこれからの1年を努めてまいる所存です。皆様のご理解ご協力をよろしくお願い致します。

8月は「会員増強および拡大月間」、9月は「新世代のための月間」になります。それぞれのクラブで、有意義な月間活動が推進できるよう、早めに明確な活動計画を立てて進めて下さい。



**国際ロータリー第2710地区 2012-13年度
ロータリー青少年交換 長期派遣学生募集要項**

高校生の国際的な交換留学を通して、文化交流による世界理解を深めるプログラムです。
心身ともに健全でロータリーの国際親善大使としてふさわしい高校生多数の応募を願っています。

1. 留学先	アメリカ・フランス・カナダ・スウェーデン その他
2. 派遣期間	2012年8月から1年間
3. 募集人数	4～5名
4. 派遣先での生活	受入れロータリークラブの会員家族並びにホストクラブにより選ばれた家族が滞在期間中のホストファミリーになります。原則として、3ヶ月ごと4家族でそれぞれの家族の一員として生活をともにし、高校に通学します。
5. 派遣期間の費用負担	本人の往復航空正規運賃及び渡航手続き、各種保険料、出発前研修費用等の諸費用及び若干の所持品は自己負担ですが、海外における滞在費と学費は受入側が負担します。こちらに受入れた学生の費用は日本のロータリーの負担です。
6. 応募資格と条件	以下の資格及び条件を満たしていることが必要です。 a) 国際ロータリー第2710地区(広島県・山口県)内に居住またはその地区の高校に在学(又は在学予定)し、出発時で満19歳未満の心身ともに健康な男女。 b) 保護者の承認があり、且つ通学する学校長及び区域のロータリークラブ会長の推薦が得られる者。(ロータリアンの子弟でも可) c) 学業の成績が一定水準以上の者で、海外生活に積極的に参加する意欲のある者。 d) 応募者の通学している高校は、来日交換学生の受入れ高校になることが望ましい。 e) 派遣国の希望には出来るだけ沿うように努力しますが、最終的にはこちらの決定に従って頂きます。
7. 申込方法	a) 同封の「国際ロータリー第2710地区ロータリークラブ一覧」をご参照の上、最寄りのロータリークラブに応募したい旨ご連絡ください。 b) ロータリークラブより応募の許可を受けた後、必要書類(①青少年交換派遣申込書 ②高等学校長推薦状③その他ロータリークラブより要請のあった書類)を揃え、ロータリークラブへご提出ください。ご提出いただいた書類は、ロータリークラブを経由して国際ロータリー第2710地区事務局へ提出されます。 ※高等学校長推薦状には必ず校長先生ご本人様のご署名をいただかれますよう、お願い申し上げます。※控えとして申請書類のコピーをお取りください。
8. 応募締切	ロータリークラブ経由で、2011年9月30日(金)までに国際ロータリー第2710地区事務局へご提出ください。
9. 選考方法	試験内容は、書類選考、英語力テスト、面接(本人及び保護者)で2011年11月6日(日)を予定。
10. 合格発表	試験終了後2週間以内に推薦ロータリークラブ会長宛に通知します。
11. 研修会の開催	合格者は出発までに数回の研修会に参加する義務があります。
12. 注意事項	合格者は当地区より受入れ地区に推薦され、相手地区の受入れ保証を得てはじめて正式に地区交換学生として決定されます。また、交換学生の派遣ロータリークラブは同時に受入れ学生の受入れロータリークラブになる義務が生じます。

国際ロータリー第2710地区 2011-12年度

地区関係資金 収支予算書

■収入の部	
科目	金額
地区事務局運営関係費	28,900,000
研修関係費	8,160,000
各種委員会奉仕活動費	24,140,000
雑収入	0
RI 補助金	2,700,000
ホストクラブ等補助金	0
小 計①	63,900,000
ガバナー会連絡会議負担金	680,000
ロータリー文庫運営協力金	1,020,000
地区大会分担金	20,400,000
小 計②	22,100,000
合 計(①+②)	86,000,000

■支出の部	
科目	金額
地区事務局運営関係費	31,600,000
研修関係費	8,160,000
各種委員会奉仕活動費	24,140,000
小 計①	63,900,000
ガバナー会連絡会議負担金	680,000
ロータリー文庫運営協力金	1,020,000
地区大会分担金	20,400,000
小 計②	22,100,000
合 計(①+②)	86,000,000

会員数:3,400人で試算

地区関係負担金 明細表

	年間(一人当り)	前期	後期	備考
地区事務局運営関係費	8,500	4,250	4,250	
研修関係費	2,400	1,200	1,200	
各種委員会奉仕活動費	7,100	3,550	3,550	
ガバナー会連絡会議負担金	200	100	100	
ロータリー文庫運営協力金	300	150	150	
地区大会分担金	6,000	6,000	0	
合 計	24,500	15,250	9,250	

会員数:3,400人で試算

RI人頭分担金他 送金明細表

区分	年間一人当り	前期7月送金	後期1月送金	報告先	送金先
人頭分担金	51ドル	25.5ドル	25.5ドル	RI日本事務局(正) 地区事務局(写)	三井住友銀行 新宿通支店(普)6733244 名義:国際ロータリー日本事務局 事務局長 大島四郎 tel:03-3903-3183
規定審議会分担金	1ドル	1ドル	—		
ザ・ロータリアン誌購読料	24ドル	12ドル	12ドル		
ロータリー米山記念奨学会	1,000円以上	500円以上	500円以上	R米山記念奨学会(正) 地区事務局(写)	三井住友銀行 京橋支店(普)0920373 名義:(財)ロータリー米山記念奨学会 tel:03-3434-8681
ロータリーの友購読料	2,520円	1,260円	1,260円	ロータリーの友事務所(正)	三井住友銀行 浜松町支店(普)7450015 名義:一般社団法人ロータリーの友事務所 tel:03-3436-6651
ロータリー財団	年次プログラム基金、ポリオ・プラス恒久基金、マッチング・グラント提唱者負担分寄付 グローバル補助金提唱者負担分寄付 その他の用途指定寄付			RI日本事務局(正) 地区事務局(写)	三井住友銀行 赤羽支店(普)3978101 名義:公益財団法人ロータリー日本財団 tel:03-3903-3183
	ドル建専用口座 (税制上の優遇措置対象外)				三井住友銀行 新宿通支店(普)0100707 名義:Rotary International tel:03-3903-3183

※ロータリー財団のプロジェクトの返金、ネクタイ/スカーフ、慈善年金の振込先については、口座が異なりますので別途財団室へご相談下さい。



2011-12年度 国際ロータリー第2710地区 公式訪問・諸行事予定表 2011年7月～12月

2011年7月		2011年8月		2011年9月	
1 (金)		1 (月)	広島東南⑦	1 (木)	下関東①
2 (土)		2 (火)	長門①	2 (金)	尾道⑨
3 (日)	第9回女性ロータリアンの集い	3 (水)	下関西①	3 (土)	
4 (月)		4 (木)	広島西⑦	4 (日)	
5 (火)		5 (金)	山口南③	5 (月)	
6 (水)		6 (土)		6 (火)	鞆の浦⑩
7 (木)		7 (日)		7 (水)	東城⑫
8 (金)		8 (月)	府中⑩	8 (木)	西条⑧
9 (土)	第1回諮問委員会	9 (火)	広島⑥	9 (金)	広島西南RC創立25周年 記念式典
10 (日)		10 (水)	小野田②	10 (土)	
11 (月)		11 (木)	萩②	11 (日)	第3期RLI-2710 パートⅢ&卒後プログラム
12 (火)	広島安芸RC創立20周年 記念式典	12 (金)		12 (月)	東広島⑫ ⑧
13 (水)		13 (土)		13 (火)	東広島⑧
14 (木)		14 (日)		14 (水)	瀬戸田⑨
15 (金)		15 (月)		15 (木)	岩国⑤
16 (土)		16 (火)		16 (金)	下関中央①
17 (日)		17 (水)		17 (土)	
18 (月)		18 (木)		18 (日)	
19 (火)	防府③	19 (金)	福山北⑪	19 (月)	
20 (水)	広島東⑥	20 (土)		20 (火)	萩東・美祢②
21 (木)	三次⑫	21 (日)		21 (水)	広島空港⑨
22 (金)	岩国西⑤	22 (月)	広島中央⑦	22 (木)	因島⑨
23 (土)		23 (火)	三原⑨	23 (金)	
24 (日)		24 (水)	山口③	24 (土)	福山丸之内RC創立15周年 記念式典
25 (月)	福山⑩	25 (木)	広島北⑥	25 (日)	
26 (火)	周南西④	26 (金)	広島城南⑦	26 (月)	光・徳山セントラル④
27 (水)	徳山東④	27 (土)	地区指導者育成セミナー	27 (火)	福山赤坂⑪
28 (木)	呉⑧	28 (日)		28 (水)	宇部東②
29 (金)	広島南⑦	29 (月)	三次中央⑫	29 (木)	広島安佐⑥
30 (土)	↑ 第35回IA地区大会	30 (火)	山口県央・山口中央③	30 (金)	
31 (日)	↓	31 (水)	油谷湾①		

2011年10月	
1 (土)	
2 (日)	福山赤坂RC創立15周年記念式典
3 (月)	下関①・防府北③
4 (火)	宇部西②
5 (水)	福山東⑩
6 (木)	竹原⑨
7 (金)	
8 (土)	
9 (日)	
10 (月)	
11 (火)	尾道東⑨
12 (水)	
13 (木)	
14 (金)	地区大会 記念ゴルフ大会
15 (土)	地区大会 第1日目・第2回諮問委員会
16 (日)	地区大会 第2日目
17 (月)	
18 (火)	大竹⑥
19 (水)	
20 (木)	江田島⑧
21 (金)	
22 (土)	
23 (日)	
24 (月)	松永・福山丸之内⑪
25 (火)	庄原⑫
26 (水)	広島陵北⑥
27 (木)	福山南⑪
28 (金)	
29 (土)	東広島21RC創立10周年記念式典(予定)
30 (日)	萩東RC創立40周年記念式典
31 (月)	広島廿日市⑦

2011年11月	
1 (火)	下関北①
2 (水)	呉東⑧
3 (木)	
4 (金)	
5 (土)	
6 (日)	2012-13年度青少年交換派遣学生選考会
7 (月)	
8 (火)	広島西南⑦
9 (水)	岩国中央⑤
10 (木)	徳山④
11 (金)	
12 (土)	
13 (日)	
14 (月)	
15 (火)	呉南⑧
16 (水)	
17 (木)	宇部②
18 (金)	
19 (土)	↑ RYLA
20 (日)	↓
21 (月)	
22 (火)	福山西⑪
23 (水)	R財団地域セミナー(予定)
24 (木)	メジャードナー午餐会(予定)
25 (金)	↑ ロータリー研究会
26 (土)	↓
27 (日)	
28 (月)	
29 (火)	吉舎⑫
30 (水)	

2011年12月	
1 (木)	
2 (金)	
3 (土)	第5回ガバナー補佐会議
4 (日)	
5 (月)	
6 (火)	広島安芸⑥
7 (水)	
8 (木)	防府南③
9 (金)	
10 (土)	
11 (日)	
12 (月)	
13 (火)	
14 (水)	
15 (木)	柳井西⑤
16 (金)	下関中央RC創立15周年記念式典(予定)
17 (土)	
18 (日)	
19 (月)	
20 (火)	
21 (水)	
22 (木)	
23 (金)	
24 (土)	
25 (日)	
26 (月)	
27 (火)	
28 (水)	
29 (木)	
30 (金)	
31 (土)	



会長・幹事さんへのお願い

■ 半期報告、人頭分担金

RI事務局、RI日本事務局及び米山記念奨学会、地区事務局への報告や送金は所定通り、确实、速やかにお進めください。

■ 各種報告書

年度を通じ、研修会登録やアンケート等の提出をお願いすることとなりますが、メ切は厳守でお願いいたします。

■ 会員増減・出席率報告

月末会員数及び出席率の報告は毎月26日～翌月14日まで(14日が休日の場合は随時変更あり)に、ホームページ上よりご報告ください。

■ 新会員報告

新会員報告は毎月26日～翌月10日の間に、ホームページ上よりご報告ください。

■ 訃報届

《C》会員訃報届(エクセルデータ)に入力し、写真データ(JPGデータ)を添えて、至急地区事務局へメールにてご連絡ください。やむを得ず紙焼きの場合は、裏面にクラブ名及び氏名を必ず明記し、ご郵送ください。

■ RI日本事務局

会員の入会、退会、変更(職業分類・会員資格・住所など)は必ずその都度RI日本事務局へお知らせください。

■ 重要なお問合せ

間違いが起こらないよう、E-mail(info@ri2710.com)にてお問合せください。

■ 緊急連絡

各クラブにおいて緊急の連絡に対応できる態勢を整えておいてください。

■ 特別寄付者

米山記念奨学会及びロータリー財団への特別寄付者については、その都度、至急地区事務局へご報告ください。尚、米山功労者、ポール・ハリス・フェロー等については回数も同時にご記入をお願い致します。

■ ロータリーの友、ガバナー月信について

「ロータリーの友」、「ガバナー月信」の精読を、例会時に強調してください。

■ クラブ週報について

ロータリーの友編集部より、クラブ週報送付の要請がありました。現在友編集部へ送付されているクラブにつきましては、引き続きお願いいたします。送付されていないクラブにつきましては、郵送またはメール(hensyu@rotary-no-tomo.jp)にて、友編集部宛にお願いいたします。送付間隔は週単位、月単位などクラブで自由に決めていただいて結構です。

2011-12年度 国際ロータリー第2710地区 担当者一覧表

氏名	地区役職	クラブ
田村 泰三	ガバナー	柳 井
田村 邦夫	代表幹事 統括/PG・AG担当	柳 井 西
宇野 明	副代表幹事 チーム研修/PETS/地区協/研修全般、地区研修委員会	柳 井 西
西海 俊夫	副代表幹事 月信編集長、広報/雑誌(ロータリーの友)	柳 井 西
金井 哲明	副代表幹事 事務局長、公式訪問、IM、地区研修委員会	柳 井
福田 敏勝	副代表幹事 副事務局長・R財団委員会 委員長	柳 井
富田 稔	地区会計長 財務委員長	柳 井
村岡 恭行	地区幹事 クラブ管理委員会委員長	柳 井 西
廣實 厚夫	地区幹事 広報委員会委員長/IT	柳 井
市川 英助	地区幹事 会員組織委員会委員長	柳 井 西
松田 昭正	地区委員 会員組織委員会/ロータリー情報	柳 井
小野 悟	地区幹事 奉仕プロジェクト委員会委員長	柳 井
豊田 清人	地区委員 奉仕プロジェクト委員会/職業奉仕部会	岩 国
安田 年光	地区委員 奉仕プロジェクト委員会/社会奉仕部会	岩国中央
藤麻 一三	地区委員 奉仕プロジェクト委員会/社会奉仕部会(RCC委員会)	柳 井 西
山本 茂男	地区委員 奉仕プロジェクト委員会/新世代奉仕部会 RA委員会	岩 国
重村 正明	地区委員 奉仕プロジェクト委員会/新世代奉仕部会 RYLA委員会	岩 国
近藤 穂積	地区委員 奉仕プロジェクト委員会/新世代奉仕部会 IA委員会	柳 井
河本 栄治	地区委員 奉仕プロジェクト委員会/新世代奉仕部会 青少年交換委員会	柳 井
八百谷俊昭	地区委員 奉仕プロジェクト委員会/国際奉仕部会、R財団委員会/夢計画準備委員会	岩 国 西
瀬土 照章	地区委員 R財団委員会/財団情報・推進部会(年次寄付・恒久基金)	岩国中央
益本 雄二	地区委員 R財団委員会/人道的補助金部会(補助金・ポリオプラス)	岩 国 西
河村敬一郎	地区委員 R財団委員会/研究グループ交換部会	柳 井
中村 義行	地区委員 R財団委員会/財団奨学金・学友部会	岩国中央
伊賀 訓之	地区委員 R財団委員会/夢計画準備委員会委員長	徳 山 東
小田 大治	地区委員 R財団委員会/夢計画準備委員会	三 次
東 日出夫	地区委員 R財団委員会/夢計画準備委員会	光
榎 賢志	地区委員 R財団委員会/夢計画準備委員会	東 広 島
細田 正躬	地区幹事 米山記念奨学会委員会委員長	岩 国 西

■月信編集委員会

西海 俊夫	編集委員長	柳 井 西
廣實 厚夫	副編集委員長	柳 井
林 繁	副編集委員長	柳 井 西
木村 好男	編集委員	柳 井 西
宮本 榮	編集委員	柳 井 西
河岡 孝佳	編集委員	柳 井
河元 恵子	編集委員	柳 井

■地区大会実行委員会

斉藤 修一	実行委員長	柳 井 西
小野 悟	実行副委員長	柳 井
有吉 裕治	大会幹事	柳 井
松前 俊健	大会副幹事	柳 井 西

文庫通信
(285号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万3千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相

談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

最近のロータリー文献より

ドイツ『ROTARY MAGAZIN』と『ロータリーの友』	織田吉郎	2011 1p (D.2790月信)
日本人の奉仕の心	延原 正	2011 2p (D.2690地区大会記念誌)
『ロータリーの心と原点』-基本に返ろう	廣畑富雄	2011 3p (D.2690地区大会記念誌)
識字率向上が意味するもの	小林完治	2011 1p (D.2690月信)

申込先:ロータリー文庫(コピー/ PDF)

CLP導入の現状とクラブ活性化計画	川岸洋一	2011 2p (D.2510月信)
ロータリーの曙	田中 毅	2011 4p (米山梅吉記念館館報)
新世代育成	片山主水	2010 4p (奉仕の理想-ロータリーの心と形)
一以って貫く	菅 正明	2010 8p (論語でロータリー)

ロータリー文庫

〒105-0011東京都港区芝公園2-6-15黒龍芝公園ビル3階
TEL(03)3433-6456・FAX(03)3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館=午前10時～午後5時 休館=土・日・祝祭日

国際ロータリー第2710地区 2011-12年度 地区大会

10月14日(金) 記念ゴルフ大会 / 15日(土) 会長・幹事会議 / 16日(日) 本会議



会長・幹事会基調講演
10月15日(土)
柳井クルーズホテル
講師 榊原 節子 様



本会議 記念講演
10月16日(日)
サンビームやない
講師 増田 寛也 様

演題

「-国際奉仕-
素晴らしい体験・奉仕のノウハウと問題点」

【履 歴】

ロータリー歴/ 職業分類 国際投資コンサルタント
東京恵比寿ロータリークラブ パスト会長
2009年ロータリー国際大会で分科会「水と衛生」の企画・実行の責任者(日本初)。
米山功労者、マルチプルボールハリスフェロー

学 歴/ 米国マウント・ホリヨーク大学を経て、
国際基督教大学社会科学科卒業

職 歴/ 国際会議同時通訳を経て、1991年、国際投資コンサル
ティングを業務とするアルペロサクロ株式会社を設立、
社長に就任する。

主著に「凜としたシニア―「ああ、いい人生だった」と思えるように」
(PHP研究所)ほか多数
東京福祉大学特任教授

演題

「新たな国づくりに向けて-
東日本大震災を経験して」

【履 歴】

1977年 3月 東京大学法学部卒業
1977年 4月 建設省入省
1982年 3月 千葉県警察本部交通部交通指導課長
1986年 4月 茨城県企画部鉄道交通課長
1994年 7月 建設省建設経済局建設業課紛争調整官
1995年 4月 岩手県知事(～平成19年4月、3期)
2007年 8月 総務大臣(～平成20年9月)
2008年 4月 野村総合研究所顧問
東京大学公共政策大学院客員教授

著書 『地域主権の近未来図』(朝日新書)

国際ロータリー 第2710地区 〒732-0822 広島市南区松原町1-5 ホテルグランヴィア広島 6F
2011-2012年度 ガバナー事務所 TEL(082)506-0055 FAX(082)263-2323 E-mail info@ri2710.com HP <http://ri2710.com/>



R I 第 2 7 1 0 地区グループ1
ガバナー補佐

胡 博興

「第 2 7 1 0 地区グループ1 ご紹介」

今年度G1のガバナー補佐を仰せつかった胡と申します。今年1年宜しくお祈いします。

私共G1は、長門、油谷湾、下関、下関東、下関西、下関北、下関中央の7RCで構成されています。日本海、玄界灘、瀬戸内海の三方海に囲まれた風光明媚な環境の中、各RCが協調し合い、特徴あるロータリー活動を展開しております。

私事ですが、前年度G1ガバナー補佐の木下君とは旧知の仲で、色々教えを得るところがあり大変助かっています。CLPを実践するためのRLI、あるいはRLIを活用してCLPを実践するという田村ガバナーの想いになうべく、微力ながら役目を果たしていければと思っております。

田村ガバナーは東日本大震災に非常に心を痛められ、認知症の問題とともに言葉の端々に2710地区のリーダーとして、出来る限りの支援が

出来ればと考えておられます。と共に“心の中をみつめよう 博愛を広げるために”RIのテーマのもと、G1の各クラブのご理解ご協力が得られれば、と心より願っております。

本来、グループ補佐は田村ガバナーと各クラブのコミュニケーション等のパイプ役だと思っております。従って、各クラブの皆様方と一緒に努力していけたらと思っております。G1の各クラブの皆様方には、私という人間はロータリーの知識も理解度もまだ道半ばの未熟者である、ということをご認識していただいております。とはいうものの無理やり一歩一歩階段を昇らされています。正直老体は疲れ気味です。

三方海に囲まれたG1の特徴は、常にさわやかな風の吹く風の通り道であり、従って各会員の特徴も自由活発な意見を述べる資質があります。その皆様方の貴重な意見を田村ガバナーに報告し、より良いロータリー活動の指針となることが出来たらと思っております。

私自身誠実に役に当り、皆様方のご指導とご協力を心よりお願い申し上げ、就任のご挨拶とさせていただきます。